

飛騨街道を歩く

下呂温泉

おさんぽマップ

下呂温泉



飛騨街道を歩く 下呂温泉おさんぽマップコース案内

Aエリア 湯けむり散策コース (P3~P8)

風情ある温泉街を回る散策コースです。
下呂温泉神社、温泉寺、足湯、下呂温泉博物館、湯の街ギャラリー、昔の街並みの残る温泉街などがあり、見学施設や足湯の多いコースです。

Bエリア 旧飛騨街道散策コース (P9~P12)

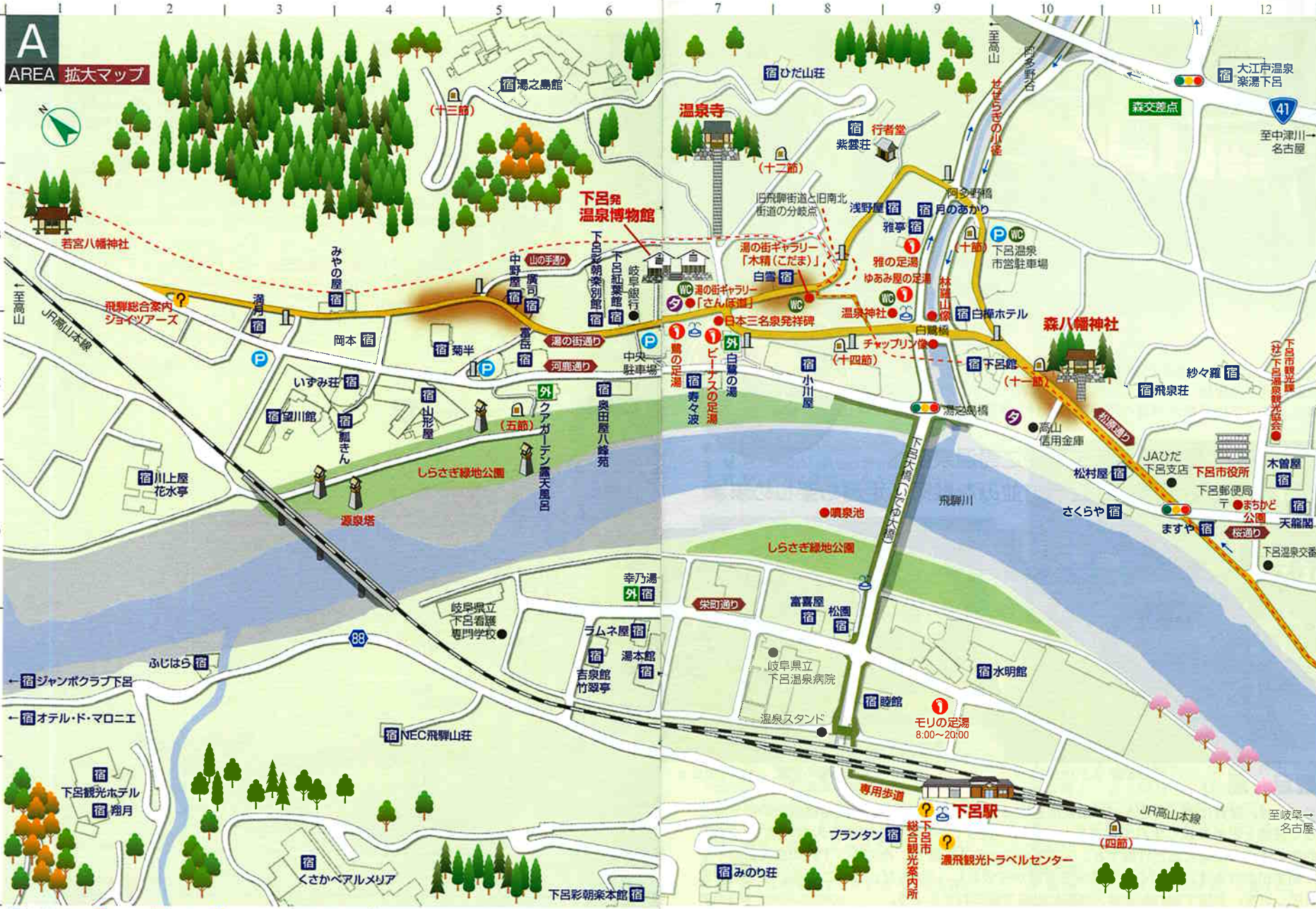
旧飛騨街道を中心に回る散策コースです。
下呂六景を望む六ツ見橋、塚田地区などの旧飛騨街道の街並み、塚田の渡し、首無地蔵、森八幡神社など、市民の生活のにおいのするゆったり散策コースです。

Cエリア 山の手散策コース (P13~P18)

雨情公園、下呂温泉合掌村、峰一合遺跡など、下呂温泉の山の手に点在する見学施設や文化と自然を満喫できるコースです。
雨情公園、いでゆ朝市 (4月~11月下旬まで開店)、下呂温泉合掌村、縄文橋、峰一合遺跡公園・ふるさと歴史記念館、温泉街が一望できる城平見晴台など、飛騨の文化、下呂の自然などを満喫できるコースです。



A
AREA 拡大マップ



- 宿泊施設
- ① 足湯
- 外 外湯
- 観光案内所
- P 公共駐車場
- WC 公共トイレ
- タクシー

- 噴泉塔
- ← 一方通行
- 野口雨情歌碑
- 道標(道しるべ)

- 旧飛騨街道
- 飛騨街道
- 旧飛騨街道をしのばせる家屋が点在



3

4



A AREA
 下呂大橋から風情ある湯之島温泉街へ
 旧飛騨街道を偲ばせる町並みを散策、足湯も楽しめます



足湯 鷺の足湯 Aエリア地図 C-7 ゆあみ屋の足湯 Aエリア地図 B-9

足湯とは、縁台に座って足だけの温泉浴をするものです。この足湯、足浴は温泉の部分浴として腰湯とともに親しまれてきました。体力の弱っている人でも可能な入浴方法で、40度前後の中温の温泉に足だけ浸すと、入浴部分の血流を改善し、冷え性、下肢の血流循環不全に効果があります。自然の温泉成分を皮膚から吸収し、「からだ」と「こころ」に元気を取り戻します。散策で疲れた後は、気軽に足湯で癒されましょう。



下呂発温泉博物館 Aエリア地図 B-7

温泉を科学と文化の両面から紹介する全国でもめずらしい温泉専門の博物館です。館内では、温泉の湧き出すしくみや、泉質、効能などを紹介し、また、歴史から見た温泉や温泉の発見伝説、江戸末期から明治の温泉番付など興味深い資料を温泉の文化として紹介しています。

営業時間 9:00～17:00
 休館日 木曜日（祝日は翌日休）
 入館料 大人400円 小人200円
 電話番号 0576-25-3400



湯の街ギャラリー「木精」
 Aエリア地図 B-8

下呂市在住の版画家、福井正郎（ふくいただしろう）氏の作品を展示。10枚以上の版木を彫って重ね刷りした版画は、自然の美しさを繊細、緻密に表現しています。（入場無料）

開館時間 9:00～21:00
 休館日 年末年始（12月31日・1月1日）
 電話番号 0576-25-7655



湯の街ギャラリー「さんぼ道」
 Aエリア地図 B-7

下呂温泉絵手紙コンクールの作品約630点を展示。館内では講師の指導で絵手紙、押し花体験が出来ます。絵手紙体験は、第1・2・3日曜日の9時から12時、押し花体験は第1・3土曜日の9時から12時に開催しています（共に体験料300円）。また、絵手紙は毎日、自由に描くことが出来ます。（入場無料）

開館時間 9:00～21:00
 休館日 年末年始（12月31日・1月1日）
 電話番号 0576-25-6611



飛騨川の源泉塔



林羅山像
Aエリア地図 C-9

日本三名泉 発祥碑

Aエリア地図 C-7



道標 (道しるべ)

下呂温泉街の名所・史跡や街道を示す石製の道しるべ9基が湯之島地内に点在し、温泉街の歴史を感じることができます。



■ 醫王靈山 温泉寺 Aエリア地図 A-7

下呂温泉に伝わる白鷺伝説でうたわれた、白鷺に化身した薬師如来を本尊としています。下呂富士と呼ばれる中根山の中腹に建ち、創建は寛文11(1671)年。江戸元禄期以降、北海道開拓に尽力したことで知られる初代飛騨屋久兵衛の父、武川久右衛門倍良が、萩原町の禅昌寺八世剛山和尚を開山に迎え、建立した寺です。

湯治の末、無事病氣平癒した人たちの残した絵馬が、江戸時代より今でも本堂に数多く残され、願い叶わずこの地で命絶えた人たちの過去帳も残っています。173段の石段を登ったところにある境内からは、下呂の街が一望できます。紅葉が美しく色づく11月には、ライトアップされます。

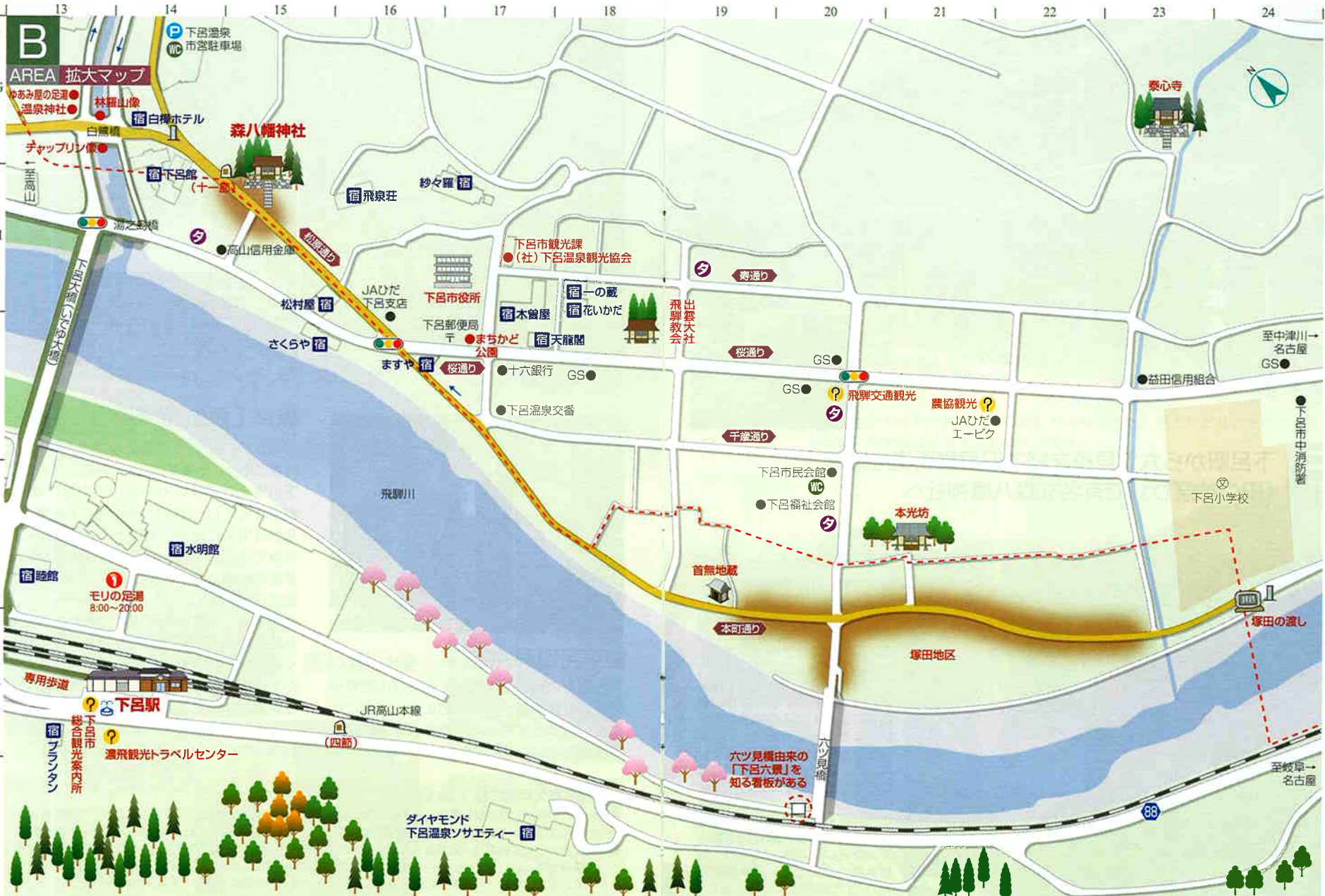


■ 下呂温泉神社 Aエリア地図 C-9

下呂温泉の繁栄を祈願して出羽三山湯殿山神社の分霊を祭ったのが始まり。境内には温かいお手水が勢いよく流れ、湯量豊富な下呂温泉のシンボルともなっています。

■ 飛騨屋久兵衛の墓 (温泉寺内)

江戸時代中期の北海道開発事業でその名を知られる、飛騨屋久兵衛こと武川久兵衛の墓石は、下呂温泉を一望できる湯之島中根山の麓、温泉寺の境内にあります。飛騨屋久兵衛は、山深い飛騨の地をもって出郷し、4代にわたって、蝦夷地(北海道)の開拓にあたり、日本人として始めてロシア人との交渉にあたるなど多くの業績を残しました。その武川家代々の墓石が、温泉寺へ登る173段の石段の125段目あたり左側に建てられています。なお、飛騨屋久兵衛の資料は、ふるさと歴史記念館に展示してあります。



宿 宿泊施設
 ① 足湯
 外 外湯
 ? 観光案内所
 噴 噴泉塔
 ← 一方通行
 --- 旧飛騨街道
 ■ 旧飛騨街道をしのげる家屋が点在

P 公共駐車場
 WC 公共トイレ
 タ タクシー
 野 野口雨情歌碑
 道 道標(道しるべ)
 --- 飛騨街道
 ■ 至中津川→名古屋 GS

0 50m 100m



■ 森八幡神社 Bエリア地図 H-15

温泉街の一角にあり、須佐之男命（すさのおのみこと）などを祭る神社。平安時代から鎌倉時代にかけて、飛騨の匠が彫ったとされる木造神像10体も伝わっており、いずれも国の重要文化財に指定されています。毎年2月14日の例祭には、国指定重要無形民俗文化財の田の神祭りが行われます。

禊（みそぎ）を終えた男たちが餅を担いで踊る田打ちの儀のあと、色とりどりの大きな笠をかぶって舞い、飛騨路に春を呼ぶ祭りと言われてます。

B AREA 下呂駅から六ツ見橋を経て旧飛騨街道を散策 『田の神祭り』で有名な森八幡神社へ



■ 首無地蔵 Bエリア地図 J-19

塚田の町はずれの飛騨街道沿いに地蔵が祭ってありました。ある時ここを通りかかった役人が「上から見下すとは無礼至極」と、その地蔵の首を切り土中に埋めてしまいました。ところが、数日後この役人とその家族が重い病氣にかかってしまい、どんな薬を飲んでも治らず苦しんでいたとき、土中に埋めた地蔵の首のことを思い出しました。「ああ悪いことをした」と自分のしたことを反省し、早速新しい地蔵を祭って供養し、危く命を取りとめたといいます。これが、首無地蔵の由来です。旧飛騨街道沿いの六ツ見橋近くにあります。



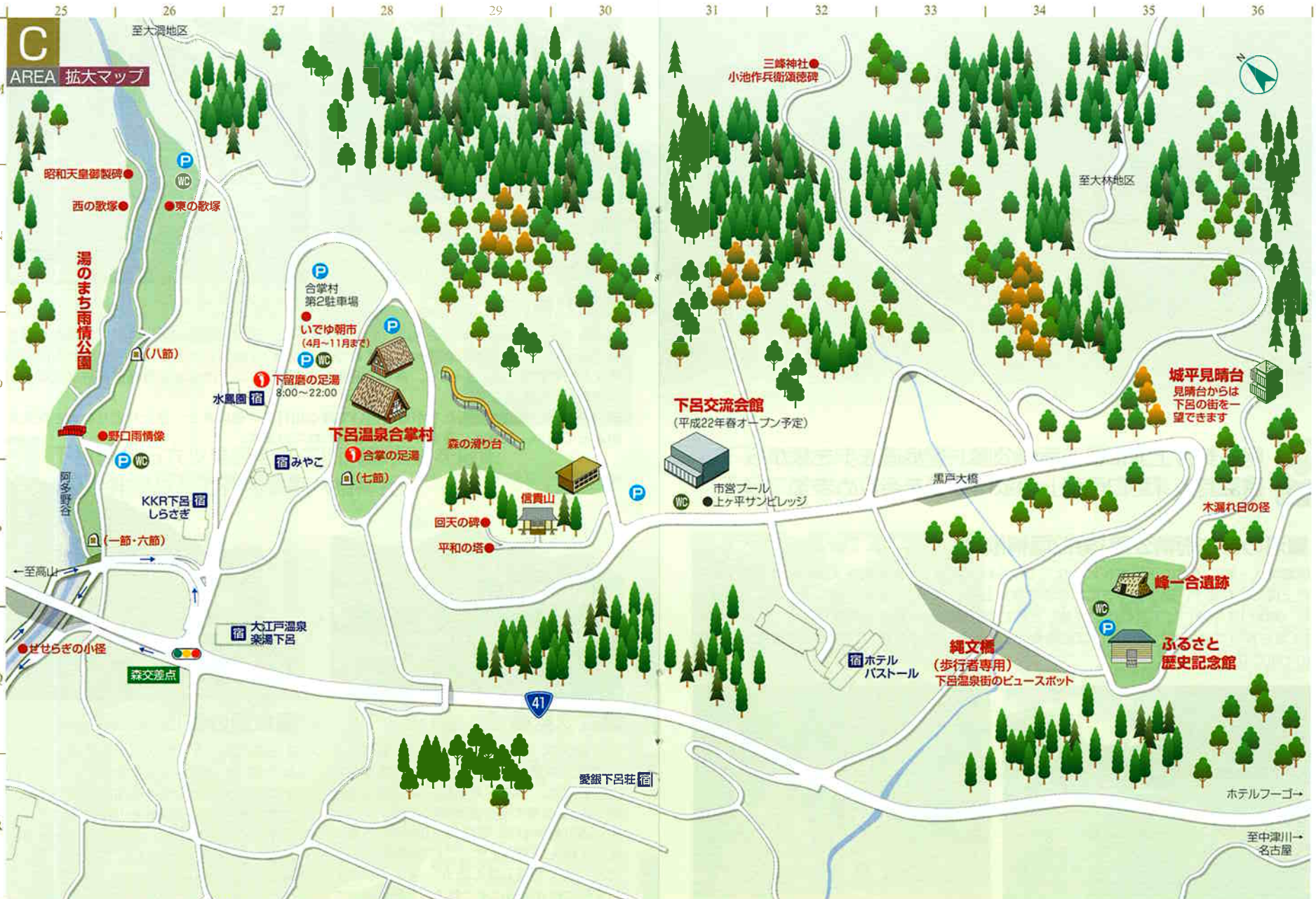
■ 六ツ見橋 Bエリア地図 L-20

この橋から、下呂の美しい6つの風景「下呂六景」が見えることから、この名が付けられました。下呂六景とは、中根山（下呂富士）、温泉寺の桜、湯が洩の湯煙、下呂大杉（森八幡神社）、弘法山（信貴山）、湯ヶ峰の夕映えを言います。この橋は大正12年に吊り橋で開通しましたが、現在の橋は昭和6年に鉄骨板橋に架け替えられたものです。



■ 塚田の渡し Bエリア地図 J-24

江戸時代から大正時代にかけて多くの旅人などが行き交った塚田の渡し。この渡しは飛騨川にあった七つの渡船場のひとつで、ここで名古屋へ出る道と中津川へ通ずる道に分かれていました。石碑の右にある道標は高さ60センチで「右なごやみち 左中津みち」と刻まれています。



C
AREA 拡大マップ

至大洞地区
昭和天皇御製碑 ●
西の歌塚 ●
東の歌塚 ●

湯のまち雨情公園
(八節)

野口雨情像 ●
KKR下呂宿 しらさき
(一節・六節)

せせらぎの小径 ●
森交差点

合掌村 第2駐車場 ●
いでゆ朝市 (4月~11月まで) ●
下留庵の足湯 8:00~22:00 ●
水鳥園 宿 ●
みやこ 宿 ●

下呂温泉合掌村
合掌の足湯 ●
森の滑り台
信貴山 ●
回天の碑 ●
平和の塔 ●

大江戸温泉 楽湯下呂 宿 ●
41

愛銀下呂荘 宿 ●

三峰神社 ●
小池作兵衛顕徳碑 ●

下呂交流会館
(平成22年春オープン予定)
市営プール ●
上ヶ平サンビレッジ ●

ホテル バストール 宿 ●

至中津川 → 名古屋

黒戸大橋
木瀬れ日の径

城平見晴台
見晴台からは下呂の街を一望できます
峰一合遺跡 ●
ふるさと歴史記念館 ●

ホテルフーゴ →

宿泊施設 ● 足湯 ● 外湯 ● 観光案内所 ●
公共駐車場 ● WC ● 公共トイレ ● タクシー ●

噴泉塔 ● 一方通行 ●
野口雨情歌碑 ● 道標(道しるべ) ●

旧飛騨街道 ● 旧飛騨街道をしのぼせる家屋が点在 ●

0 50m 100m



C AREA 阿多野谷上流にある雨情公園、遊歩道を歩きながら歌謡詩人「野口雨情」の歌碑などを楽しめます

下呂の高台にある合掌村から峰一合遺跡へ手軽に歴史と文化を訪ねるウォーキングが楽しめます

湯のまち雨情公園・野口雨情歌碑 Cエリア地図 M～P-25～26

歌謡詩人・野口雨情の下呂滞在にちなんで作られた公園で、温泉街を東西に流れる阿多野谷の上流にあります。遊歩道や芝広場のある河川公園となっています。野口雨情は昭和のはじめ（昭和13年頃）に下呂の地に来遊した際に湯之島館や当時の清芳閣に泊まり、下呂歌謡14章を作っています。雨情歌碑は温泉街はじめ、下呂温泉の南、飛騨木曾川国定公園の中山七里に立っています。



下呂温泉 合掌村

Cエリア地図 O～P-28～29

世界遺産となった白川郷がある白川村から昭和38年に移築した「旧大戸家住宅」（国指定重要文化財）をはじめ、10棟の合掌造りの民家を配し、往時の生活を知ることができる貴重な博物館です。村内には和紙作りや素焼きの陶器の絵付けの体験、飛騨の味なども体験できます。

開館時間 8:15～17:00
 休館日 12月30日・31日
 1月6日・7日
 入館料 大人800円 小中学生400円
 （団体割引有り）
 電話番号 0576-25-2239
 駐車場あり
 J R 下呂駅から定期バスあり

回天の碑 Cエリア地図 P-29

下呂温泉合掌村の近くにある信貴山には、太平洋戦争当時、人間魚雷を考案し、回天の特訓中に殉職した下呂市出身の黒木博司少佐らがまつられています。毎年9月、回天関係者により慰霊祭が営まれます。



■ 縄文橋 Cエリア地図 Q-33～34

下呂温泉合掌村から峰一合遺跡の間にある黒戸谷に架かる「縄文橋」。橋の長さ 190 m、高さ 37 mの歩行者専用の橋。橋からは温泉街を一望することができます。真下には小川も流れ、ハイキングコースともなっています。夜はきらびやかな温泉街の夜景を望むビュースポットとして人気です。



■ 峰一合遺跡・ふるさと歴史記念館

Cエリア地図 Q-35

湯ヶ峰山麓で出土した縄文、弥生時代の遺跡を整備した公園。復元した竪穴住居があるほか、土器や石器などの出土品の展示やギャラリーのある「ふるさと歴史記念館」があります。(入場無料)

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日(祝日は翌日休)

年末年始(12月28日～1月4日)

電話番号 0576-25-4174



■ いであゆ朝市

Cエリア地図 N-27

下呂温泉の特産物や飛騨の名物がずらりと揃った楽しい朝市です。下呂温泉合掌村近くで開かれ、合掌村を訪れる際には是非立ち寄りたい場所です。地元のおじさんやおばさんとのよまま話に花が咲きます。

開店時間 8:00～12:00

開店期間 4月～11月下旬



■ 城平見晴台 Cエリア地図 O-36

峰一合遺跡から木立の中の歩道を登ったところに城平と呼ばれる平地があり、下呂温泉を一望できる城平見晴台があります。この城平は森城跡で永祿年中(1558～1570)森和泉守が居住していたと伝えられています。空堀跡が残っていることから、城らしさを演出するため石垣を築き、この上に砦をイメージして見晴台が造られました。



■ 小池作兵衛頌徳碑 Cエリア地図 M-32

1810(文化7)年森村の農家に生まれた作兵衛は、天保の大飢饉を経験し、新田開発を手がけました。村人と協議すること184回、ねばり強い説得と当時の高山郡代所の協力もあり、上ヶ平の開拓の大事業を成し遂げました。

小池作兵衛の資料は、ふるさと歴史記念館に展示してあります。

下呂歌謡14章と野口雨情歌碑

(昭和13年4月8日、野口雨情作)

1節

忘れなされるな 湯ヶ峰下は こひし温泉 下呂の町

(雨情公園下段：Cエリア地図 P-25)

温泉街の東にそびえる湯ヶ峰は、崩落の後が残り、山頂近くには千年前に下呂温泉が発見されたと伝えられる湯壺が残っています。

2節

紅葉見るなら 帯雲橋で 山も谷間も ひと眺め

(中山七里 帯雲橋右岸)

中山七里の北端に位置する帯雲橋には紅葉が映えます。この橋の下の「椀箕せ淵」の伝説が、下呂の夏の最大のイベント「龍神火まつり」となって、観光客を魅了しています。

3節

通ておいてよ 中山七里 下呂は湯どころ 唄どころ

(中山七里 孝子ヶ池公園)

中山七里は、飛騨木曾川国立公園にあり、飛騨川、JR高山線、国道41号が縫うように美しく走っています。

4節

六ツ見橋ゆきゃ 暑さは志らぬ 涼し川風 そよそよと

(六ツ見橋右岸：Bエリア地図 K-16)

六ツ見橋からは、下呂富士、温泉寺、湯ヶ峰の夕映えなど「下呂六景」を望むことが出来ます。

5節

思やなつかし 湯が淵あたり 宵の月さへ 来てのそく

(クアガーデン露天風呂付近河原：Aエリア地図 C-6)

クアガーデン露天風呂がある湯が淵は、昔から湯煙が立ち上って、温泉情緒を醸し出していました。

6節

誰を待つやら 河鹿でさえも 下呂の磧で 夜も啼く

(雨情公園下段：Cエリア地図 P-25)

清流の証ガジカカエルの「コロコロ」と涼やかな声が、浴衣がけの肌に夜風が心地よい。

7節

益田川さへ 雨降りゃ濁る わたしゃ心は 濁りゃせぬ

(下呂温泉合掌村 高椅神社横：Cエリア地図 P-28)

洪水のたびに源泉が埋まり、洪水との戦いが下呂温泉の歴史。現在は集中管理で名泉を保護しています。

8節

山の谷々 流れる水も 末にゃ千羽の 滝となる

(雨情公園中段：Cエリア地図 O-26)

千羽滝は温泉街の東の幽谷で、訪れる人もなく谷川の音が涼を呼び、飛騨川へ注いでいます。

9節

木々は青葉に 中山七里 岩につつしの 花が咲く

(中山七里 孝子ヶ池公園)

中山七里には、春には岩に根を張った赤い可憐なツツジが咲き、渓谷美が美しい。

野口雨情歌碑は、下呂温泉街に点在しています。

10節

湯の香慕ふて 若鮎さへも 益田川すち 瀬をのほる

(阿多野橋左岸：Aエリア地図 B-10)

温泉街を歩くと、ほのかな湯の香りが。温泉街の中央を流れる益田川(飛騨川)が光り、銀鱗が躍る。

11節

見たか聞いたか 下呂八幡の 四十五尺の 大杉を

(森八幡神社境内 階段左：Bエリア地図 H-15)

森八幡神社の大杉は昭和27年に焼失。神社の「田の神祭り」は中世の農作業を伝えるとして国の重要文化財に指定されています。

12節

下呂の温泉 お薬師さまは 昔なからに 湯の守り

(温泉寺境内：Aエリア地図 B-8)

「源泉を教えた白鷺が飛び立ち、跡には薬師如来像が…」温泉発見のしらすぎ伝説の薬師様は医王山温泉寺の本尊。

13節

飛騨の下呂町 湯治の帰り 袖に湯の香か ほんのりと

(湯之鳥館玄関前左奥：Aエリア地図 A-5)

下呂温泉は、無色透明でツルツルした肌触りのアルカリ性単純泉。運動機能障害、神経痛、リウマチそして美肌効果も。

14節

下呂の河原の 月待草の 花は夜咲き 朝しほむ

(小川屋旅館かなれ入口：Aエリア地図 C-8)

源泉地の川原を掘って温泉を楽しんでいた昔。四季の山々や温泉街のネオンを川面に映す今も、湧き出す名泉は変わりなく。

この下呂歌謡14章をもとに、野口雨情が新調下呂小唄を作り、盆踊り等で親しまれています。

新調 下呂小唄 作詞 野口雨情

忘れなされるな 湯ヶ峰下のナー

下呂は湯の街 下呂は湯の街 唄の街

ホンニヨイトコ ヨイトコロ

ホンニソレソレ ソジャナイカ

トコ ソジャナイカ

通ておいてよ 中山七里ナー

岸につつじの 岸につつじの咲くころに

紅葉見るなら 帯雲橋でナー

山も谷間も 山も谷間もひと眺め

思やなつかし 湯ヶ淵あたりナー

空の月さえ 空の月さえ来てのぞく

誰を待つやら 河鹿でさえもナー

下呂の磧で 下呂のかわらでなき明かす

旧飛騨街道

江戸時代、美濃、飛騨、越中において飛騨街道と呼ばれる道はいくつかありました。飛騨街道はひとつの街道の名称ではなく、飛騨高山に至る街道の総称といっても過言ではありません。

旧飛騨街道は中山道太田宿から金山を經由し、難所であった「中山七里」を越え、塚田の渡しで下呂の町へ渡っていました。

下呂は東山道飛騨支路の下留(しものとり)駅が置かれていたところです。

下呂の町に入った飛騨街道は、下呂小学校グラウンドから左折し、本光坊の南の道を通り、突き当たりを右にコの字型に迂回し、交番のある交差点から森八幡神社の前を通っていました。森八幡神社は、豊作を占う国重要無形民俗文化財「下呂の田の神まつり」で知られ、周辺の村などからも参詣者があって、賑わっていたといわれています。

森八幡神社を過ぎた飛騨街道は、飛騨川に注ぐ阿多野谷を渡って湯之島に入り、このあたりは竹藪などが茂っていたといいます。白鷺橋の上でクランク状に細い路地を上がり、現在のトンヤ土産店右の交差点に出ました。このトンヤ土産店が伝馬宿であり、また、高山陣屋の役人の宿泊施設でもありました。

下呂宿とも呼ばれていた湯之島は、また中山道の中津川宿と湯之島までを結んでいた南北街道との分岐点であり、栄えていました。

飛騨街道、江戸街道あるいは高山往還とも呼ばれた南北街道は、ここから南へ小川、初矢峠から乗政、中津川市との境にある舞台峠、加子母、付知そして中山道の中津川宿までをおよそ95キロで結び、高山と江戸を結ぶ重要な街道でした。

また、下呂小学校から道を右折すると、南北街道へとつながっていました。

飛騨街道は、トンヤ土産店右の交差点から山側へ進み、温泉寺に上がる長い石段の下に出ます。温泉寺は昔、温泉のありかを教えたという白鷺伝説で有名です。

温泉寺を離れた飛騨街道は現道を外れ右手の山中に入り、若宮八幡神社の山側を通り、東上田を経て、禅昌寺のある萩原へと進みます。

(参考文献：飛騨街道紀行 まつお出版)



お散歩コース

(下呂駅発)

巻

湯けむり散策コース

- 下呂駅前 ↓ 300m
- 下呂大橋(いでゆ大橋)
(温泉街の風景) ↓ 150m
- 白鷺橋
(林羅山像・チャップリン像) ↓ 20m
- 下呂温泉神社 ↓ 150m
- ピーナスの足湯
(白路坂) ↓ 5m
- 日本三名泉発祥の碑 ↓ 40m
- 湯の街ギャラリー「さんぼ道」
(湯の街通り) ↓ 5m
- 鷹の足湯 ↓ 30m
- 下呂発温泉博物館 ↓ 200m
- 風情ある温泉街の街並み ↓ 200m
- 山の手通り ↓ 150m
- 温泉寺 ↓ 200m
- 湯の街ギャラリー「木精」
(湯の街通り) ↓ 20m
- 旧飛騨街道と南北街道分岐点 ↓ 250m
- 雅の足湯
(阿多野通り) ↓ 60m
- ゆあみ屋の足湯 ↓ 10m
- 下呂温泉神社

式

旧飛騨街道散策コース

- 下呂駅前 ↓ 100m
- 駅前通り ↓ 450m
- 六ツ見橋 ↓ 200m
- 塚田地区の旧飛騨街道の街並み ↓ 250m
- 塚田の渡し ↓ 200m
- 塚田地区の旧飛騨街道 ↓ 100m
- 首無地蔵 ↓ 100m
- 本町通り ↓ 200m
- 松原通り ↓ 50m
- 森八幡神社 ↓ 150m
- 白鷺橋
(林羅山像・チャップリン像) ↓ 20m
- 下呂温泉神社

参

山の手散策コース

- 下呂駅前 ↓ 300m
- 下呂大橋(いでゆ大橋)
(温泉街の風景) ↓ 150m
- 下呂温泉神社 ↓ 20m
- 白鷺橋
(林羅山像・チャップリン像) ↓ 20m
- ゆあみ屋の足湯 ↓ 60m
- 雅の足湯
(阿多野通り) ↓ 300m
- 雨情公園 ↓ 500m
- いでゆ朝市
(開店期間4月~11月下旬) ↓ 100m
- 下呂温泉合掌村 ↓ 500m
- 平和の塔・回天の碑 ↓ 400m
- 縄文橋 ↓ 200m
- 峰一合遺跡公園・ふるさと歴史記念館

時間に余裕があれば、温泉街を一望できる歴史の森・城平見講台まで足を伸ばして、下呂温泉の風景をお楽しみください。



下呂市観光課

〒509-2295 岐阜県下呂市森960番地
TEL 0576-24-2222(代) FAX 0576-25-3252
URL <http://www.city.gero.lg.jp>

下呂市総合観光案内所

〒509-2206 岐阜県下呂市幸田1357番地
TEL 0576-25-4711 FAX 0576-25-4645
(営業時間 8:30~17:30)

協力

下呂温泉ゆのまち散歩道の会